

# 平成27年度政策討論会第三分科会要点記録

日時 平成27年1月18日

場所 第1委員会室

会議時間 10:00～11:00

出席者 座長 雪本 清浩  
副座長 反甫 旭  
池内 矢一  
池田 啓子  
河合 馨  
岸田 厚  
京西 且哲  
柔原 佳一  
友永 修  
鳥居 宏次 (五十音順)

発言要旨 (順不同)

## ① 広報のやり方・PR方法について

- ・インターンシップに岸和田市を選んでもらうため、他市との違いをアピールしなければ、ただ単にホームページや様々な媒体に掲載しても選んでもらえない。広報活動は大切だが、どのようなインターンシップの受け入れ内容かが問われる。
- ・テレビ岸和田、ラヂオきしわだ、広報、ホームページ、フェイスブック等を積極的に活用し、若手現職員のコメントなどを公開するなど興味を持たせる工夫が必要。
- ・本市の現状は、全く広報、PR活動を行っていない。広報きしわだ、ホームページなどあらゆる手段を使って呼びかけるべきと考える。
- ・テレビ岸和田、ラヂオきしわだ、広報きしわだ、市役所ホームページ等によって、広く広報する必要がある。
- ・本市の現状や課題を踏まえ、大学とも連携して他市との違いを発信していくべきだと思う。
- ・役所に対する市民のイメージアップのためにも、しっかり広報し、若者が頑張っている姿を発信する必要があると思う。
- ・テレビ岸和田やラヂオきしわだ及び本市のホームページも活用し、より多くの方に岸和田の魅力や業務について知っていただく。

## ② 担当部局・受入体制について

- ・広報活動は広報広聴課が担当し、学生の受け入れは各担当部課で行う。そのとりまとめは人事課でも良いのでは。
- ・市長公室に属す各課の強みを活かせるような集合窓口、チームとしての窓口を仮設し

## 平成27年度政策討論会第三分科会要点記録

てはどうか。若手職員を人材育成の観点から登用を積極的に行う。

- ・制度スタート当初は、人事課の職員の任用ととらえて人事課の担当であったが、本市での採用の現状や大学での単位等を考えれば、職業体験という授業の一環になりつつある。ですから、広報広聴課が行うべきと考えます。また、全庁的に受け入れ部署、メニュー、人数の拡大が必要と考えます。

- ・人事課は正職員など賃金が伴う人材を対象とし、管理業務が主体となる。したがって、市政運営に与える効果の広がりを考えれば、市長の直轄である市長公室に担当係を設置すべきである。

- ・市長公室、人事課、広報広聴課でチームをつくり、インターンシップ制度を通じ、「岸和田のイメージアップ」を図る。

- ・担当部局については、市長公室内で課選出でのチームによる設置も有効ではないか。

- ・各課にまたがることなので課題を抽出できるよう、窓口やチームを作って毎年発展できる体制を整えなければならない。

- ・担当は広報広聴課とし、受入は若手職員に任せ、職員の業務負担が過大とならないように複数の部局で分担させることも検討する。

### ③ 手続きについて

- ・現在、本市が行っているインターンシップの受け入れの要項や書式をオープンにすることにより大学との関係、受け入れ学生との関係など整理できると思う。

- ・実施に関する取り決めが、各部局によって異なるのではなく、本市として統一されたものにすべきである。

- ・実施要項や申込書などが統一されていないので、早急に整えるべきである。

- ・多くの市民、学生にインターンシップ制度を知ってもらうために、実施要項やエントリーシートを公開する。

- ・手続きについては、本市は「制度の位置づけ」であるが、他市のように「実施要領を設ける」ことが必要である。

- ・他市の事例で募集要項などがきちんとした自治体もあったが、よりよい形で手続きしないといけない。

- ・協定先を拡大し、契約をオープンにする。エントリーシート等の書類の充実を図り、また、実施要項や募集内容（受入職場の一覧など）は、丁寧で分かりやすい物とする。

- ・市の魅力ある、特色ある行政や仕事ぶりを探しあててもらふ工夫が必要ではないか。また、オープンにするために要項等は必要だと思う。

### ④ 採用との結びつき・民間との連携について

- ・本市では定員管理計画があるが、長期的な若手職員の採用計画をつくり、世代の交代がスムーズに行われるよう取り組むべきである。

## 平成27年度政策討論会第三分科会要点記録

- ・本市の取り組み状況や採用人数等を考えてみると、市と民間企業や商工会議所と連携した取り組みも重要であると考え。商工会議所、民間企業のインターンシップの現状把握も考慮し、本市としてのPRについて各種媒体を使い、有効な周知活動も充実を図るべきである。
- ・受入は夏休み中で、第3回定例議会の会期に一部重複するように設定し、議会の傍聴も経験してもらおう。
- ・インターンシップの受け入れを市のみでなく、市内一般事務所にも広められるように、その役割を持つことも市としての任務でもあると思う。

次回にむけて

3月のまとめに向けた議論、意見交換を行う。